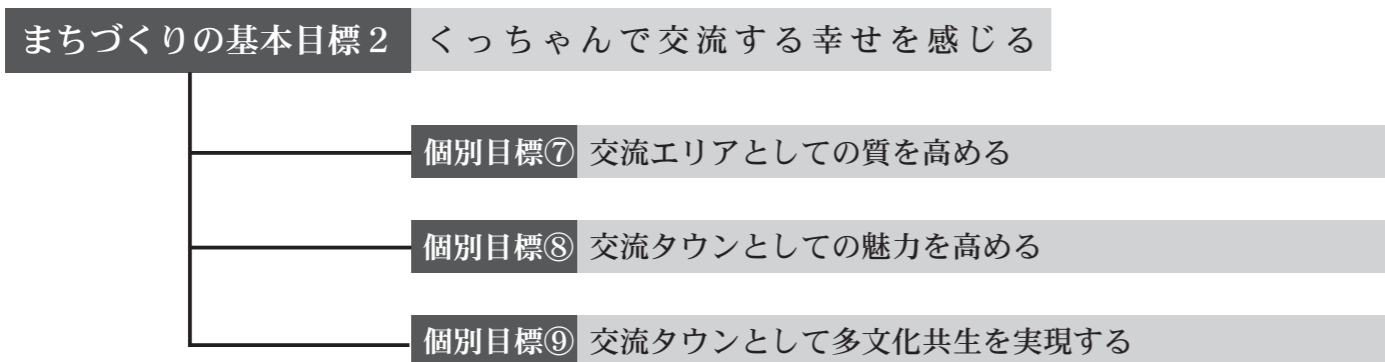
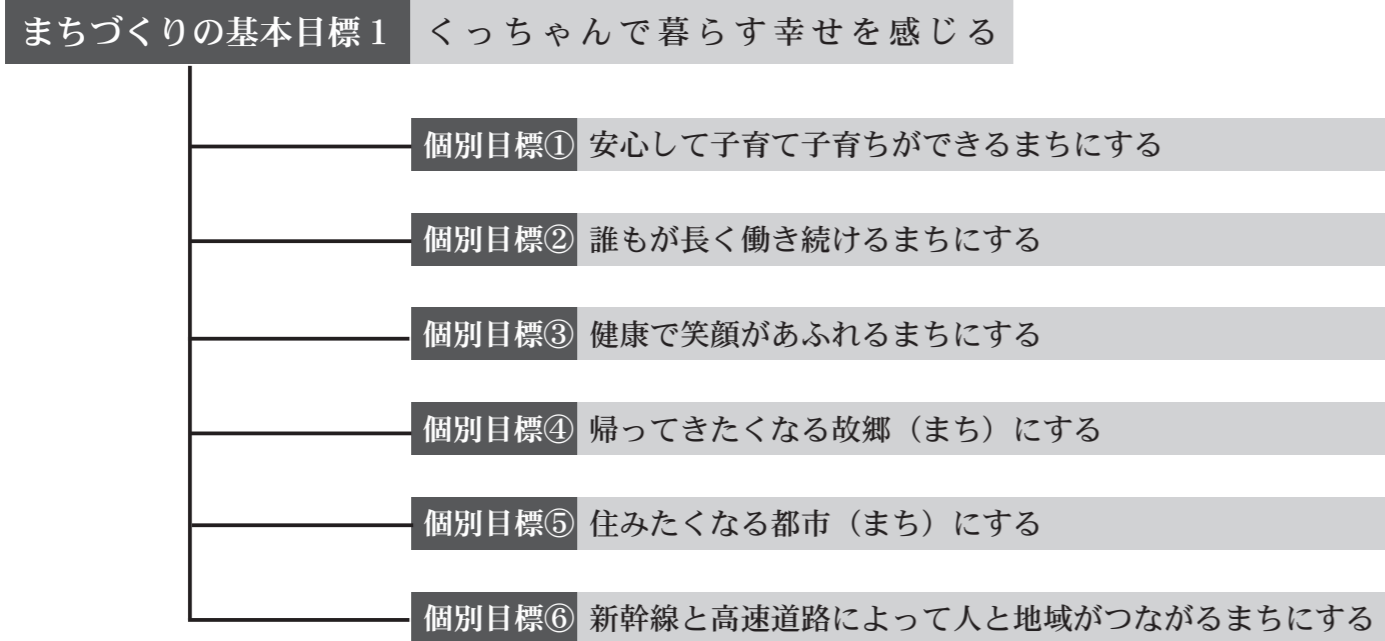


倶知安町のまちづくり体系図

まちづくりの基本姿勢 (倶知安町民憲章)	自然をいかし、環境をととのえ、美しい町をつくりましょう
	仕事を工夫し、力をあわせ豊かな町をつくりましょう
	郷土を愛し、教養をたかめ、文化の町をつくりましょう
	きまりを守り、親切に助けあい、明るい町をつくりましょう
	未来に希望をもち、若さにあふれた、伸びゆく町をつくりましょう

目指すまちの姿 (将来像)	いつまでも住みたい町“くっちゃん”
------------------	-------------------



予算編成の大綱

本町では、歳入の柱となる町税において、固定資産税で、土地、家屋のいずれにおいても堅調な伸びを見せており、2億9,901万円の増額を見込んでいます。町民税では、個人・法人あわせて1億7,344万円の増、宿泊税では、1億9,000万円の増収を見込むなど、町税全体では、対前年度比6億8,182万円増の総額55億4,081万円を計上しました。

また、地方交付税は、町税の増額に伴い、普通交付税で3億8,000万円の減を、特別交付税は3,000万円の増を見込み、総額12億6,000万円を計上しました。

本年度は大型事業が本格化するため、地方債の借入は、プール絵本館複合拠点施設整備、山田地区上水道整備事業費負担金、倶知安厚生病院第2期整備費負担金などに充てるものとして、対前年比で23億1,990万円増の44億9,890万円としました。

その他の各歳入は、前年度の実績などを勘案しつつ、慎重に推計し、過大積算とならないよう予算計上しましたが、財政健全化基金から6億5,000万円を繰り入れ、財源として活用することとしました。

歳出では、プール絵本館複合拠点施設建設工事や南6条団地の建て替え、北海道新幹線建設費負担金、上水道整備の負担金など、将来のまちづくりに不可欠な建設事業費の比率が高くなっています。

その他、物件費や施設管理費などの経常経費についても、労務単価の上昇に伴う委託料の増や、過去の大型事業に係る公債費の増などが財政を圧迫する要因となっておりますが、各事業の緊急性・重要性・優先度を厳格に判断し、予算配分を行いました。この結果、一般会計の予算規模は、前年度当初予算を36億5,900万円上回る、総額181億9,800万円となりました。

令和8年度各会計予算

会計区分		当初予算額	前年度当初予算額	増減率
一般会計		181億9,800万円	145億3,900万円	25.2%
特別会計	国民健康保険事業	5億7,928万円	5億7,824万円	0.2%
	後期高齢者医療事業	2億7,232万円	2億875万円	30.5%
	介護保険サービス事業	705万円	705万円	-
	地方卸売市場事業	561万円	1,130万円	△50.4%
総額		190億6,226万円	153億4,434万円	24.2%

下水道事業	収益的	収入	7億6,645万円	7億4,257万円	3.2%
		支出	7億4,015万円	6億9,518万円	6.5%
	資本的	収入	7億6,375万円	6億3,179万円	20.9%
		支出	9億7,073万円	8億3,115万円	16.8%

上水道事業	収益的	収入	4億9,222万円	5億4,379万円	△9.5%
		支出	5億2,475万円	4億7,451万円	10.6%
	資本的	収入	30億6,481万円	16億2,269万円	88.9%
		支出	32億7,597万円	18億2,046万円	80.0%

※金額は四捨五入・切り捨て・切り上げをしているため、合計と一致しないことがあります



まちづくりの重要事業

こども

未来を創るこどもたちへの投資



こども施策については、令和8年度から施行を目指す「くっちゃん子をみんなで育てる条例」や本年度から計画期間が始まる「倶知安町こども計画」のもと、こどもや若者の視点を大切にしながら、妊娠・出産期から成長段階に応じた切れ目のない支援を通して、安心して子育てができる環境づくりに取り組んでいきます。本年度は新たに、小学校の適正配置に向けた検討や校舎の健全度調査に着手し、教育環境の最適化に向けた歩を進めていきます。また、就学への円滑な移行につなげるため「3歳児以上入園奨励祝金」を新設し、こども園入園を促進するとともに子育て家庭の経済的負担の軽減を図り、こどもが健やかに成長できるよう、きめ細やかな支援に取り組めます。

さらに、老朽化と狭あい化が進む「羊蹄山ろく発達支援センター」の建替整備に向け、本年度は整備候補地の測量を実施します。身近な地域で安心して専門的な支援を受けられる体制を整えるため、財政負担を十分に考慮しながら、引き続き着実な検討を進めていきます。

子育て	こども家庭センター設置事業	6ページ
	3歳児以上入園奨励祝金支給事業	6ページ
	乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）	6ページ
	羊蹄山ろく発達支援センター事業	6ページ
	保育人材確保一時金給付事業	6ページ
	保育士等奨学金返還支援事業	6ページ
	産後ケア事業	7ページ
	町営プール絵本館複合拠点施設整備事業	10ページ
	医療給付扶助	10ページ



町の未来を形づくる 新幹線開業を見据えた基盤づくり

新幹線

北海道新幹線の札幌開業延期という局面ではありますが、開業時の効果を最大化し、完成度を高める期間と捉え、未来に向けた基盤づくりを止めることなく推進していきます。

町の玄関口となる駅前通り周辺については、この開業延期期間を、周辺環境の変化や新たなニーズを的確に捉え直す好機とし、将来にわたって町民が誇れる「まちの顔」のあり方を具体化していきます。

また、町民や観光客が安全かつ快適に通行できるよう、北海道が進める無電柱化事業に合わせ、駅前通りの歩道ロードヒーティング整備に着手します。冬季における移動の安全性を飛躍的に高め、観光地にふさわしい環境づくりに向けた投資を行います。

新幹線	北海道新幹線推進事業	16ページ
	景観まちづくり推進事業	18ページ



地域の活力を 次世代につなぐ基盤への投資

観光

冬季の二次交通対策については、「ひらふ無料循環バス」や、タクシーの他地域からの応援派遣による「ニセコモデル」の支援を継続し、利便性の向上に努めていきます。あわせて、ひらふ地区の新たなロードヒーティング整備に向けた設計に着手します。加えて、新中区配水池の建設に伴う駐車場不足に対応するため、ひらふ高原中央公園内に駐車場を整備し、円滑な受入環境を維持していきます。

観光施策の推進については、倶知安観光協会が、受入環境の整備のみならず、「Kutchan ID+」や「マジカルエクスペリエンス」といった観光の地域理解を促進する取り組みを展開しています。長年の課題であった夏季の観光入込についても、グリーンシーズン事業の抜本的見直しおよび施策を実施するとともに、MICE市場のさらなる拡大を行うことで、地域の持続的な発展に向けた活動を一層力強く支援していきます。

さらに、外国籍住民が地域の一員として安全・安心に暮らせる環境を整えるため、「コミュニティ通訳派遣事業」を開始します。言葉の壁によるトラブルを未然に防ぎ、地域全体の安全と秩序を守ることで、多様性をもたらす活力を町の持続的な成長へと繋げ、将来にわたり確かな豊かさを引き継ぐ土壌を育みます。

観光	山田地区水道拡張事業	15ページ
	ニセコ観光圏協議会負担金（ニセコモデル分）	17ページ
	ひらふ高原中央公園駐車場整備事業	17ページ
	ニセコひらふ地区シンボル空間形成事業	18ページ
	ニセコ HANAZONO リゾート連絡交通補助事業	18ページ
	ひらふ地区ロードヒーティング事業	19ページ
	コミュニティ通訳派遣事業	19ページ

景観

ふるさと“くっちゃん”の風景を 次世代につなげる基盤づくり



良好な景観を適正に保全し、将来にわたって持続可能なまちづくりを推進することは、本町にとって極めて重要な課題です。この課題に対し、実行性をもって対応するため、準都市計画区域の拡大に向けた検討に着手します。

あわせて、適正な土地利用の誘導につながる「特定用途制限区域」や「景観地区」の指定に向けた事前調査を実施し、ふるさとの風景を守るための確かな法的基盤を整備していきます。

これらのルールづくりにあたっては、地域住民が望む土地利用のあり方を踏まえたものとし、この町に暮らす全ての人々が誇りと愛着を持てる“くっちゃん”の風景を、未来へと確実に継承していきます。

住宅	準都市計画区域等の拡大検討事業	13ページ
	地域優良賃貸住宅整備事業補助金	13ページ
	南6条団地建替検討事業	15ページ